

# ともに生きる… Live with すずか

地域の皆さんのお役に立ちたい情報誌

2011年

あけましておめでとう  
ございます



三重県厚生連  
鈴鹿厚生病院  
院長 西浦 眞琴

## 今年の抱負

早いもので病院を新築して6年が経過しました。昨年は、本格的に稼働しはじめた生活の障害を援助する行動支援サービス「地域支援室」を開設し順調なスタートをきりました。利用者の方から「24時間365日いつでも駆けつけることのできる訪問看護」として認知度も高まり、お正月でも、ゴールデンウィークでも必要に応じて自宅訪問を行いますので、退院後の患者さんも安心だと好評です。また、昨年は二名の常勤医師が増え、診療面においても充実してまいりました。今年は、患者さんによりよい入院生活を

送っていただくために、少しでも家庭に近い療養環境を整えるべく、病棟の環境整備を考えています。

また、長期に入院されている患者さんが退院後スムーズに社会復帰できるよう、地域移行のシステム委員会を発足させる予定です。医師、看護師、ケースワーカー、作業療法士、薬剤師、事務職などのさまざまな職種がチームを組み、彼らが密接に協議し、患者さん一人ひとりのプログラムをつくりスムーズな地域移行を目指します。



## 地域とともに

当院は、患者さん参加型の病院祭、運動会、演芸会などを行っていますが、ここ数年、新たに「春と秋の花フェスタ」が定着してまいりました。花いっぱい運動や緑化運動にも力を入れています。地域の奉仕活動として千代崎海岸のゴミ拾いなども行いました。今年は地域の農家の方の指導協力のもと、野菜作りも行っていけたらと考えています。そして当院をもっと身近に感じていただけるよう努めてまいります。

本年もどうぞよろしく申し上げます。